

上川地区社会科教育連盟

18年度の研究

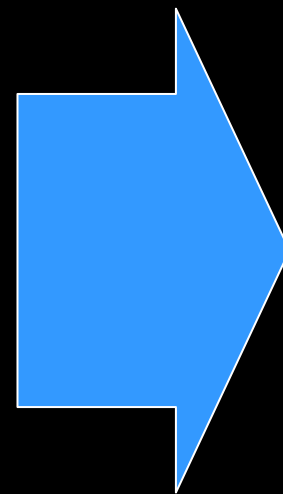
新たな時代をたくましく切り拓く
子どもの育成

研究主題について

新たな時代をたくましく切り拓く 子どもの育成

～自ら学び、自ら考え行動する
社会科の在り方を求めて～

- 多様な情報の氾濫
- 足踏みしない科学技術の進歩
- 未曾有の不況
- フリーター・ニートの急増
- 社会全体のモラルの低下
- **ファイターズ優勝！**



社会科を教える
ことの重要性

新たな時代をたくましく切り拓く 子どもの育成

将来，社会科で身に付けた力をもとに，
社会事象に主体的にかかわり，
新たな価値を創造していこうとする態度をもつ

社会の変化に主体的にかかわる力

自分らしく豊かな自己実現を図る力

確かな見取り

自己決定・自己実現の意識化

公民的資質の基礎

研究の副題について

自ら学ぶ社会科

問題解決力が身に付く社会科

- 学びの必要感・切実感
- 複線的調査活動と考えの交流
- 資料・情報の適切な選択
- 追究結果の関連付け・公正な判断
- 根拠を明らかにした表現・交流

ズレ

複線化

視点の変換

学習展開の工夫

自ら考え行動する社会科

生きる力が身に付く社会科

- 地域・社会のプロジェクトXの教材化
- 創造的な営み
- 「貢献」の教材化
- 他者意識から自分ごとへ！
- 将来の社会に主体的にかかわり、行動する力

貢献の社会科

研究の3つの視点について

研究の視点1

社会に貢献する人物の創造的な営みに絞る教材化

- 教材化の構造図で説明いたします。

上社連の教材化構造図

定着させたい基礎的・基本的な内容

- ・ 製品を生産する人々の工夫や願いを見学やインタビューをしながら追究すること。
- ・ 調べたことをノートにまとめて書き表すこと。
- ・ 追究を通して気付いたことやわかったことを地図や資料に書き表すこと。
- ・ 地域のもので作る仕事には、国内の他地域とのかかわりがあることに気付くこと。

手順を明確にした目標分析から

もの

人

こと

追究の核 1

工場の様子

追究の核 2

工場の人々の思い

さとうづくりの
秘密

地域の良さが位置付く教材化

追究の核 3

さとうの運送

上社連の目標設定

学習指導要領の目標と内容

- 目標（１）地域の産業や消費生活の様子，人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員として自覚をもつようにする。
- 内容（２）地域の人々の生産や販売について，次のことを見学したり調査したりして調べ，それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

素材

- ・ 農業の士別市
- ・ 北海道でも珍しい甜菜農家の存在
- ・ （株）日甜工場

手順を踏んだ目標分析

子どもの実態

- ・ 明るく意欲的に発表
- ・ 日甜工場でどんなものが作られているか知らない子がほとんど
- ・ 工夫した楽しい発表活動を行える

単元の目標

- 砂糖を作る仕事の特色や他地域とのかかわりについて意欲的に追究し，砂糖を作る仕事がい로운人やものとかかわりがあることを理解する。

総括的に

研究の視点2

みがき合いながら追究が深まる学習の構成

- 学びの必然を創出 → **出会いの工夫**
- 多様な考えの保障 → **追究活動の工夫**
- みがき合いの設定 → **交流の工夫**
- 多面的ものの見方の醸成 → **視点の変換**

評価を下支えとして

視点の変換

問い直し

分かりなおし

- 学習問題の解決によって子どもたちの思考がどこに落ち着くのかを的確に把握
- その思考をどこに向かわせるべきか
 - 問い直す目的
 - 教材の本質へ迫る
- そのために適切な手段は何か

研究の視点3

見方や考え方, 個と集団を高める教師の 授業力

- 研究の視点1・2の徹底深化です！
- **子ども把握が大命題です！**

子どもの実態を分析して指導に生かす力

* 診断的評価

* 形成的評価

* 総括的評価



指導に返す

討議の柱

協議の柱 1

➡ 視点の変換は教師の意図したとおりになされたか。

協議の柱 2

➡ 子どもの思考が教材の本質に迫ったものとなったか。